

選択したシラバスのプレビュー画面です

平成26 年度

[↑ 操作ボタン](#)
講義科目名称： **ボランティア論**授業コード： **43016**

英文科目名称： ---

開講期間	授業形態	単位数	科目必選区分
前期	講義	2単位	
曜日時限			
前期: 木曜3限			
配当学科・学年			
教福4、人間1			
担当教員			
岡島 克樹			

授業テーマ	ますます活発化するボランティア活動について考えながら、人間の行動と社会の動向に関する理解を深める。
講義概要	日本では、日本社会の長期的・構造的な変化とともに、震災などの短期的な要因をきっかけとして、ボランティア活動がますます活発化してきている。また、2010年代以降、「新しい公共」という言葉が時代を表す1つのキーワードになり、サードセクターと呼ばれる社会の一部分が一層注目を浴びるようになってきている。さらに、個人の観点からも、生きがいや人とのつながりを求めてより多くの人がボランティア活動に従事するようになってきている。そこで、本講では、(1) ボランティアを戦後日本の歴史の中に位置づけ、その定義・背景となっている思想・主要分野・担い手等における歴史の変遷を考えるとともに、(2) 個人がどのようにしてボランティアに従事するのかその心理的なメカニズムを学ぶ。また、(3) ボランティアが社会を構成する組織、たとえば行政や学校、企業とのあいだでどのような関係を持つようになってきているのかを考えることをとおして、全体として、人間の行動と社会の動向についての理解を深める。
到達目標	(1) ボランティアという概念がどのように変化してきたのかが理解できる。 (2) 最近のボランティア振興策の傾向とその背景について理解できる。
評価方法	(1) 期末試験(論述式)(70%) (2) 外部講師による講義の際に課すレポート(2~3本)(30%)
評価基準	(1) ボランティアという概念を構成する要素をあげ、それがどのように変化してきたのか、説明できる。 (2) 1990年代以降、行政や学校がボランティアをどのように振興してきたのか、その背景を含めて説明できる。
テキスト	なし
参考書	必要に応じて紹介する。
履修上の注意	外部講師をお招きして、ボランティアの現場についてお話いただく機会を2~3回程度、設ける予定である。しかし、実際にいつどの回に外部講師が来学しレクチャーされるのかは、外部講師の先生方のご予定にもよる。分り次第、なるべく早急に授業のなかで告知するのでお知らせください。
準備学習	予習として資料をコピーして配布することがある。事前に目をおしてから授業に臨むようにしてください。
オフィスアワー等	授業終了後に質問に対応する。
備考・メッセージ	

授業計画			
回数	担当教員	授業内容/到達目標	備考
1	岡島	オリエンテーション・本講義担当者のボランティア経験とその意味(本講義全体の学習到達目標が理解できる)	
2	岡島	ボランティアとは何か(その1)(ボランティア概念を構成する主要5要素が理解できる)	
3	岡島	ボランティアとは何か(その2)(ボランティア概念を構成する主要5要素以外の要素について理解できる)	
4	岡島	外部講師(福祉系のボランティア団体主宰者)による講義	
5	岡島	世界のボランティア史(ボランティア概念の変化を社会の動向とあわせて理解できる)	
6	岡島	日本のボランティア史―戦前・戦後直後の動向(ボランティア概念の変化を社会の動向とあわせて理解できる)	
7	岡島	日本のボランティア史―1970年代のパラダイム転換を軸に(ボランティア概念の変化を社会の動向とあわせて理解できる)	
8	岡島	日本のボランティア史―ポスト戦後時代の動向を軸に(ボランティア概念の変化を社会の動向とあわせて理解できる)	
9	岡島	外部講師(子育て支援系のボランティア団体主宰者)による講義	
10	岡島	ボランティア振興策の変化とその背景―行政を中心に(最近のボランティアをめぐる社会の動きが理解できる)	
11	岡島	ボランティア振興策の変化とその背景―学校を中心に(最近のボランティアをめぐる社会の動きが理解できる)	
12	岡島	外部講師(多文化共生・国際交流系のボランティア団体主催者)による講義	
13	岡島	ボランティアを求める人間の心理(社会的なアプローチではなく、心理的なアプローチからボランティアという人間の行動を理解することができる)	

1 4	岡島	ボランティアを始めるにあたっての留意事項（どのようにボランティアを探せばいいのか、何に留意して決めるとよいのかを理解できる）	
1 5	岡島	総括	

閉じる